

議員氏名：渡辺 訓任

議案番号：議案第2号

案件名：令和7年度二宮町一般会計補正予算（第8号）

討論内容：

私は、議案第2号、一般会計補正予算（第8号）について賛成の立場で討論いたします。

本予算案は、国からの重点支援地方交付金の具体化を中心にしたものであります。物価高が収まらない中、高齢年金も実質目減り、それから、11か月連続で物価高騰分を差し引いた実質賃金も前年比マイナスが続いていると報じられています。その中で、一時金支給について期待しているという声をいただいております。

しかしながら、一方、今回の一時金支給については、両手放しで喜ばれない部分があります。1つは、近隣よりは8,000円という額は非常に高いということで、喜ばしい、そういう部分もありますけれども、実質的な収入減を、特に食料品などを勘案すると、本当にこれで十分かという点です。

それから、もう一つは、この交付金を含む補正予算の編成に当たって、多額の赤字国債が発行されているということで、このことが行く行くは円安と金利上昇につながっているとの指摘もされていますので、ぜひ町のほうからは、一時金によらない物価対策、これをさらに国に求めていただきたい、そのように考えるところです。

子育て支援につきましては、国の施策をそのまま実行するということですので、早く進めるべきではなかったかという思いがあります。予算執行に当たりましては、消費税の使い方、求める方が全て使い切れるような、そういうふうな取り組みを徹底していただきたいということです。

それと、次は債務負担行為の設定についてなんです。これはやはり、これまで説明をいただいた基本設計と、それから予算の大枠、今日の答弁でも、それを出るものではないということをお願いしておりますので、私自身は問題ないと思うんですが、ただ、内容につきまして、グリーン対応ですとか、そういう部分でも、白紙委任をしているということではありませんので、都度議会のほうに対しては報告、ご提案、もっと引き続き求めていきたいと思っております。

今回、国が示した推奨事業メニューの交付限度額、これについては枠を残して来年度にということですので、ぜひとも有効に、来年度予算に編成していただきたい、このことを最後をお願いを申し上げます。以上です。